

令和6年度 第3回川崎市宮前市民館専門部会会議録（要旨）

日 時 令和6年12月13日（金） 14:00～16:00

会 場 宮前市民館 4階 第4会議室

出席者	部会長	川西 和子	調査モデレーター・分析・各種司会
	副部会長	山本 太三雄	菅生分館利用者懇談会
	委 員	渡辺 美代子	宮前区文化協会 会計
		高久 實	宮前区全町内・自治会連合会 理事
		檜崎 光雄	市民委員
		宮下 大志	宮前区PTA協議会 副会長
欠席者		中川 正彦	川崎市立富士見台小学校 校長
		白武 初江	宮前第6地区民生委員児童委員協議会 会長
事務局	宮前市民館	大木館長・徳原係長	
	菅生分館	田添分館長	

会議の成立 委員8名中6名出席のため、成立

会議の公開・傍聴人 なし

次 第

1 宮前市民館長あいさつ

2 議事

（1）報告事項

- ・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業について

（2）協議事項

- ・研究課題について

（3）その他

- ア 令和7年度 宮前市民館・菅生分館 市民自主学級・市民自主企画事業の提案
会と選考について

- イ その他

配付資料

- | | | |
|-----|----------------------------------|--------------|
| 資料1 | 令和6年度 宮前市民館 | 社会教育振興事業実施状況 |
| 資料2 | 令和6年度 宮前市民館菅生分館 | 社会教育振興事業実施状況 |
| 資料3 | 令和7年度 宮前市民館市民自主学級・市民自主企画事業募集実施概要 | （一式） |

(参考)

●宮前市民館だより 第258号(11月1日発行)

●菅生分館だより 第187号(11月1日発行)

第188号(1月1日発行)

●宮前市民館事業チラシ

- | | |
|---------------------------|----------------|
| ○「いろいろな国の料理を作ろう！」 | 平和・人権・男女平等推進学習 |
| ○「ひとりで楽しく生きていきたい！」 | 平和・人権・男女平等推進学習 |
| ○「ママのためのベビーマッサージ&タッチケア」 | 市民講師活用事業 |
| ○「宮前市民館ってどんなところ？」 | 市民エンパワーメント研修 |
| ○「ボランティアによる、無料スマホ相談会 11月」 | 現代的課題学習事業 |
| ○「ボランティアによる、無料スマホ相談会 12月」 | 現代的課題学習事業 |
| ○「ボランティアによる、無料スマホ相談会 1月」 | 現代的課題学習事業 |

●菅生分館事業チラシ

- | | |
|------------------------|-----------|
| ○「推しは、ウチの子」 | 家庭・地域教育学級 |
| ○「おしゃべりスマホひろば」2枚 | 現代的課題学習事業 |
| ○「児童室であそぼう Day」 | 子育て支援啓発事業 |
| ○「おしゃべりサロンすがお」 | 課題別連携事業 |
| ○「読み聞かせボランティア講座」 | 市民自主学級 |
| ○「心と体と脳 まるっとイキイキ健康づくり」 | 高齢者セミナー |

●生涯学習情報誌「ステージアップ」 Vol.251

1 宮前市民館長あいさつ

2 議事

(1) 報告事項

- ・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業について

宮前市民館の社会教育振興事業について、資料1に基づき、徳原係長から説明を行った。

(補足説明)

- ・シニアの社会参加支援事業「趣味のスマホと園芸～花を愛でスマホを学ぶ」について、11月末に2回目の同窓会を実施。担当講師の方も出席し、つながりを維持している。
- ・多様な主体の社会参加推進事業「夏休み子どもあそびランド」は台風の影響で1日だけの開催だったが、コロナ禍前より盛況になった。

- ・市民講師活用事業「ChatGPT を日常生活に活かしてみよう」と「セルフケアヨガ」については、申込が多数あり人気の事業であったため、年度内にもう一度開催を検討している。
- ・課題別連携事業「みやまえ子育てフェスタ2024」について、来場者はコロナ禍前より盛況であった。

菅生分館の社会教育振興事業について、資料2に基づき田添分館長から説明を行った。

(補足説明)

- ・子育て支援啓発事業「児童室であそぼう Day」では、11月10日に青少年科学館と連携して児童室でプラネタリウムの上映を行った。ボランティアの方によるピアノ演奏や楽しい語りもあり、参加者の方には非常に喜んでいただけた。
- ・今年の市民自主事業は、どの事業も大変素晴らしかった。「読み聞かせボランティア講座」では、読み聞かせの楽しみや、やりがい等、生の声を聴くことができ、自分もやってみたいという気持ちになった受講者がたくさんいた。

(質疑応答)

檜崎委員

「かわさき100年本に描かれたわが町を探れ!」とあるが、実際に街に出て行くのか。

徳原係長

宮前区内の場所を映像や資料で示して座学をするもので、まち歩きはしない。

大木館長

宮前区在住の作家や書評家が川崎市にまつわる本を紹介しながらトークショーを行い、大盛況であった。

檜崎委員

「ひとりで楽しく生きていきたい」はどのような方が講師をするのか。

徳原係長

ファイナンシャルプランナーや主夫の方等、いろいろな方が来る。担当者が各回を繋いでいく。

川西部会長

「かわさき100年本に描かれたわが町を探れ!」や「宮前を知ろう歩こう楽しもう」の参加者の属性は?どのような方々が参加されたのか。

徳原係長

「宮前を知ろう歩こう楽しもう」は60歳以上で男性比率が高かった。内容が歴史関係で、町歩きとなると男性が多くなったのではないか。

「かわさき100年本に描かれたわが町を探れ!」については、大学生から高齢者

まで幅広く参加しており、男女半々で本が好きな方が参加していた。

川西部会長

「ひとりで楽しく生きていきたい」の講座が保育付きというのは、シングルの方の参加を考えているのか。

徳原係長

実際の利用があるかは分からないが、参加される方の間口を狭めることなく、誰でも参加できるようにした。

川西部会長

「ChatGPT を日常生活に活かしてみよう」は、具体的にどのように行うのか。

徳原係長

AI で何ができるかを学ぶというもの。料理で利用することを想定し、冷蔵庫の中にあるもので料理を考えてもらった。男性の参加者が多かった。料理に興味があるというよりは、ChatGPT に興味があつての参加だった。

川西部会長

事業のアンケート結果をまとめると、新たな企画を立てる際に役立つのでは。

徳原係長

全市ではアンケートをまとめているので、参考にしている。

川西部会長

どの講座も大変良いものなので、今後参加できなかった方や情報の欲しい方に内容が見られるようにできるようになると良いのではないかな。関われる方も増えてくるのではないかな。

大木館長

一部の講座では、講師の許可をとって資料をホームページに掲載している。

川西部会長

ゆくゆくは動画のアーカイブが残せるようになると良い。

高久委員

市民館のホームページに載せてみるのも良いのではないかな。

檜崎委員

講師の方の許可等色々準備が必要だが YouTube にあげるもの良いのではないかな。

田添分館長

講座の内容や様子はホームページでの公開を前提として行っていないので、講師との調整等が必要だ。

高久委員

事業のアンケート集計後の分析結果を「事業実施状況」の右欄に追加してみてもどうか。

檜崎委員

“認知症”のテーマを入れると多くの人が集まるのではないかな。

宮下委員

クラスターを広げるというのであれば、Web 開催ができると 30 代、40 代世代の人達も取り込めるのではないか。

菅生分館の「読み聞かせボランティア講座」でボランティアの育成とあるが、その後どこかで活動しているのか。

田添分館長

今回の企画委員の読み聞かせボランティアのグループに入った人がかなりいる。こども文化センターや子育て支援センターなどで活躍している。

宮下委員

現在小学校での読み聞かせを行っているが、ボランティアが減ってきて困っている学校もあると思うので連携ができると良いと思う。

田添分館長

活動の場を探しているので、連携も可能なのではないか。

渡辺委員

宮前区文化協会の活動も市民館だよりに載っているので、市民館主催の事業と連携が取れたら良いのではないか。

宮下委員

家庭教育学級でも連携できるのではないか。

高久委員

自分たちで窓口を広げていければ良い。

川西部会長

人や担当が変わっても連携できるシステムが構築されると良い。

(2) 協議事項

研究課題について

ワーキングでの検討内容を川西部会長から説明した。

川西部会長

4 月以降、決まっている事業があれば早めの掲示をした方が良いのではないか。

「知って、関わって、好きになろう」を掲げ、宮前市民館のサポーターの確立ということで、「宮前市民館ってどんなところ？」の企画をたててもらった。支えてくれる人たちを徐々に増やしていこうと考えている。

徳原係長

まずはサポーターというより市民館に足を運んで知ってもらい、興味を持ってもらう。講座としては全 5 回。市民館見学からスタートし、講座見学、来年度のチラシを作成してもらう。次年度、講座に参加してもらい、市民館だよりに感想などコラムを書いてもらう。ゆくゆくは講座の企画やサポーターとして担い手となるようつなぎとめていきたい。

川西部会長

専門部会の委員は、どの回でも良いので1回は参加して雰囲気を見てほしい。

檜崎委員

チラシが少し硬い感じがする。「知って、関わって、好きになろう」の部分を表題の下へ持ってきた方が良かったのではないかな。文字だけでは、内容が分かりにくく、とっつきにくい。

高久委員

チラシをぱっと見ただけだと、何が目的なのか分かりづらい。

徳原係長

伝わりやすいように考えて作成したが、さまざまなご意見があると思う。講座の中でもチラシ作りを行うので、講座に参加した方にそういう点を指摘してほしい。

宮下委員

市民館を助けて欲しいといったメッセージが入っていない。もっとシンプルに考えてはどうか。

大木館長

申込みが12月19日なので、まずはこのまま募集を行い、あまり反響がないようなら、年明けにチラシのリニューアルを考えようと思っている。

渡辺委員

チラシはどこに貼ってあるのか。

徳原係長

各公共施設や市民館に配架してある。

宮下委員

QRコードがついているがチラシと同様の内容しか見られない。QRコードで見られる内容をもう少し深く、職員の思いや生の声も聴けると良いのではないかな。

講座の初回で市民館の内部を案内するのは良いと思う。実際に見学すると興味がわき、色々と考えも広がるのではないかな。

(3) その他

ア 令和6年度 宮前市民館・菅生分館 市民自主学級・市民自主企画事業の提案会と選考について

資料3に基づき、徳原係長から説明を行った。

3 その他

次回ワーキングの日程を次のとおりとした。

令和7年1月15日(水) 午前10時から12時 グループ室

第4回専門部会及び宮前区市民自主学級・自主企画事業選考会は次のとおりとした。

令和7年2月16日(日) 午後1時から午後5時頃